

英国の沿岸に現存するビクトリア時代の55栈橋を  
3年かけて踏査した日本初のレポート

# 海の上を歩いて楽しむ 不思議なインフラ

平成28年8月  
PIERS 研究会



はじめに

PIERS 研究会会長

古土井 光昭

ヴィクトリア朝の街並みを下って行くと海沿いの道路にぶつかる。広い砂浜から沖に向かって延びる棧橋。棧橋の上には宮殿のような大きな建物。[Pier だ!] 感動的なブライトン・パレス棧橋との出会いでした。

2013年6月末、7人の有志で英国の棧橋(Pier)調査に出かけました。未体験者がほとんどであるため、ロンドンを拠点に鉄道を利用して日帰りで主要な棧橋を視察することにしました。朝ロンドンを出て昼前には最寄りの駅に到着し、市街地を抜けて棧橋至る道中ほどの棧橋でもワクワクするものでした。ロンドンからの家族連れもこんな風だったのでしょう。海に出ると海岸沿いに並ぶホテル、広い砂浜、沖に延びる棧橋が英国棧橋の典型的な構成で、海岸リゾートの中心になっている。

イーストボーン棧橋は先端のヴィクトリア朝の建物と背後のよく整えられた海岸通りとホテル群、ブライトン・パレス棧橋の堂々たるパビリオンと背後の市街地の賑わい、クレブドン棧橋の優美な構造と海の上を歩いているような体験、先端部にある劇場に集まってくる人々に驚かされたクローマー棧橋、2000mを超える長さを持つサウスエンド棧橋など、英国棧橋の多様性と棧橋や海岸リゾートで楽しそうに遊ぶ人々の姿に魅了されるとともに、いくつもの「何故?」を感じた。その「何故?」の答えを求めて、2014年と2015年にも調査を行った。素晴らしい棧橋を出来るだけ多くの人々に見てもらうため企業の方々の参加を募った。調査の機動性を確保するためバスを借り上げ棧橋背後の都市や自然の観察も行った。車内はいつも意見交換の場となった。

2014年は南部海岸を2015年は英国のすべての棧橋を見るため、東海岸、西海岸、ウェールズ、マン島、スコットランドにも足を運んだ。

英国では200年間に100本以上の棧橋が建設され、度重なる高波や火災による被害、老朽化を克服して59本の棧橋が現存している。このうち55本を調査することができた。調査するほど棧橋の魅力が増し、英国の人々の棧橋への深い思い入れ、海岸リゾートでの生活をエンジョイする姿に深い感銘を受けた。あわせて英国の人々が棧橋や海岸を楽しんでいるように、わが日本でも同様に楽しめないのかとの思いが高まってきた。調査参加者の共通の想いを具体的な行動で示すため、我が国の海岸で、ケーススタディとして、棧橋と背後海岸の計画を提案した。「棧橋」が日本の海岸を変え、沿岸地域を活性化し地域創生に寄与することを期待したい。

最後に、3年間の調査にあたって多くの人々や団体のご支援ご協力を頂いた。心から感謝の意を表します。

## 目 次

プロローグ：栈橋に魅せられて・・・ 1	III. 英国の栈橋から学んだこと・・・ 21
* イーストボーン栈橋	1. 生活の豊かさへのこだわり
* ブライトン栈橋	2. 歴史遺産を継承する情熱
* クレブドン栈橋	3. 海と広く付き合う
* スワネージ栈橋	4. ビジネスとしての栈橋
* クローマー栈橋	5. 自己責任と政府の役割
* ブラックプール・ノース栈橋	6. 街づくり、海岸づくり
* ランディドノ栈橋	
* ソルトバーン栈橋	IV. 改めて日本への提言・・・ 27
I. 英国の栈橋の魅力・・・ 9	1. 暮らしの舞台となる海岸づくり
1. 英国の海岸を彩る栈橋	2. 年間を通して人々が滞在する海岸リゾート
2. 海の上を歩くよろこび	3. 街づくりをリードする海岸マスタープラン
3. 海上の劇場とサロン	4. 市民や民間の創意と参画による海岸づくり
4. 時間を忘れ楽しむ栈橋	
5. 栈橋の構造美とデザイン	
6. 被災を乗り越えてきた栈橋	
II. 英国の海岸リゾート・・・ 15	<参考>・・・ 30
1. 滞在型、通年型の海岸リゾート	・ 英国における海岸リゾートと栈橋の歴史の変遷
2. 海岸と人が中心の街づくり	・ 3年間調査した栈橋と行程
3. 海岸の崖や段丘を活かす街づくり	・ 調査した栈橋の概要
4. 海岸を目指す英国人の休暇	・ PIERS 研究会プロフィール
5. 高級ホテルからキャンプ場まで	
6. 元気な地方の沿岸都市	